

## 市之川公民館だより 令和5年6月号 (No.594号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「4月末現在」  
 Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 10人(男4人・女6人)  
 eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 7世帯  
 ※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

### 6月 水無月 (みなづき)

梅雨の季節がやってきました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。近年は各地で局地的な豪雨が発生しております。土砂災害に備え、気象情報をこまめに確認してください。

また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、感染症対策に関する施設の利用条件が解除されました。施設利用に際して、マスクの着用は個々の判断となりました。引き続き、定期的な喚起やこまめな手洗い、咳エチケットを心がけるようお願いします。

### 《6月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
10	土	からおけ会 10:00～ 集会室
24	土	からおけ会 10:00～ 集会室

5月9日  
睡蓮が開花しました



もっとたくさんの人に輝安鉱について  
知ってもらえますように！

### ※ 西条高校商業科『輝安KOU房』の活動

5月6日(土) 11時～15時の間、フジグラン西条において、ワークショップが開催されました。参加した生徒は15名。13時現在で20人以上の方がボールペン作りに参加されたそうです。



『輝安鉱』を使ったワークショップ

5月9日(火) 大町公民館にて『輝安KOU房』の活動状況が展示されました。5月末日までの展示予定です。



### ※ 西条高校商業研究部『輝安KOU房』&城南高校(徳島県)【交流会】

4月23日(日) 市之川公民館において、西条高校(5名)と城南高校(11名)との交流会が開催されました。午前中は鉱山資料室の見学をはじめ、フィールドワークや来館者(親子4名)も交えボールペンづくりのワークショップが行われました。午後からは西条高校にて科学部と研究発表を中心として交流会を行ったそうです。

城南高校と西条高校との集合写真



来館者を交えてのワークショップ



4月28日(金) 今後の活動のため、市之川公民館へ初めて来られた西条高校の生徒。7名



### ※ (株)西遊旅行のツアー客来館【2回目】

4月21日(金) 東京都の西遊旅行『日本列島の起源を探る地質紀行【高知・愛媛編】』の観光ツアーのお客様、添乗員を含め7名が来館しました。3月24日に続いて2回目です。公民館でお迎えするメンバーは西条高校から5名。前館長の渡邊さん。私を含め7名。合計14名の方が『市之川鉱山』について学ばれました。

観光ツアー客と西条高校等のみなさん



観光ツアー客は15時20分に到着。まずは①鉱山資料室の見学。続いて②石割体験。  
 【高校生は16時30分に来館。商品の陳列を行いました】準備ができたところで、③実践販売です。今回もわきあいあいとした雰囲気のなか、高校生の活動に対し、賞賛の声も聞かれるなど楽しい時間を過ごすことができました。  
 集合写真を撮った後、千荷坑周辺の見学をし、17時20分に西条市にある宿泊施設に向かわれました。西遊旅行の藤本さんからは、「とても良かった。次年度もツアーの検討をしたい」とのことでした。ご協力を頂いたみなさん、ありがとうございました。



①鉱山資料室の見学



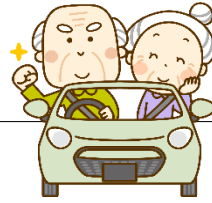
②石割体験



③高校生による実践販売



# 交通安全



## 高齢者交通安全教室を開催します！

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。ドライビングレコーダーによる運転のチェックを行うことで、ご自身の運転技能を再確認することができます。ぜひ、ご参加ください。

- 日 程：令和5年6月19日（月）  
※1日あたり午前・午後の2回開催
- 時 間：午前の部 9時～12時、午後の部 13時30分～16時30分
- 場 所：西条ドライビングスクール（西条市石田284番地）
- 対 象：市内在住のおおむね65歳以上の方で、自動車運転免許をお持ちの方
- 定 員：1回20人（先着順）
- 応募締切：6月12日（月）
- その他：当日は運転免許証と、眼鏡等運転に必要なものをお持ち下さい。
- 申込先：西条市役所危機管理課くらし安全係  
TEL0897-52-1284（直通）

## 「石鎚黒茶の製造技術」国重要無形民俗文化財指定記念シンポジウム

令和5年3月22日に本市の「石鎚黒茶の製造技術」が発酵茶の伝承や製造技術の変遷を理解する上で重要であるとして、国の重要無形民俗文化財に指定されました。それを記念してシンポジウムを開催します。ぜひご来場ください。

日時 6月4日（日） 13時15分～16時30分（12時45分開場）

場所 西条市小松公民館

主な内容

- 指定団体の紹介
- 記念講演
- パネルディスカッション
- 製造工程を紹介するパネル展

※当日は、試飲会等を行います。（都合により中止する場合があります。）

時間 12時～13時

問合せ 市庁舎新館4階社会教育課 TEL0897-52-1628



## ※ 西条市社会福祉協議会 市之川支部から



西条市社会福祉協議会市之川支部では来館者の歓迎を目的に、3月～4月にかけてフラワーアレンジメントを展示しました。夏期は花壇づくり、冬期は生花が主となります。市之川公民館が憩いの場となれば幸いです。

2023年5月10日

～毎月10日は人権を考える日～

## 映画「破戒」から考える

昨年、水平社創立100周年記念事業として映画『破戒』が製作されました。

主人公は瀬川丑松。丑松は、故郷を出るとき父親から「いいか丑松、部落民という素性を隠せ。」と言われます。この戒めを守って、素性を隠したまま、やがて丑松は小学校の教師となり、子どもたちに慕われます。自分が授業をする教室で、子どもによる部落差別事象が起こります。丑松は、子どもたちに差別することの間違いを話します。そして、誰もが胸を張って生きていくことの素晴らしさを話して聞かせるのです。ですから、子どもたちにとって丑松は、すべての子に対して同じ態度で接する大好きな先生なのです。

また、この戒めを守って、大人の部落差別事象の現場に出くわした時には、じっと耐えて見て見ぬふりをするのです。「止めたい。止めさせたい。」という気持ちをどのようにして押しとどめていたのでしょうか。どんな気持ちで我慢して耐えていたのでしょうか。丑松の尊敬する猪子蓮太郎は、出自を明らかにして活動する思想家です。その猪子に、手紙を出し面会することができました。しかし、猪子蓮太郎は壮絶な死を遂げます。その後、丑松の素性が、様々な形で、悪意ある人によって容赦なく暴かれていくのです。

思い悩む丑松は、ついに決意します。父の戒めを破ることを。学校で子どもたちに自分の出自を話します。そして涙ながらに懺悔します。・・・懺悔しなければならないことでしょうか。部落差別は、絶対に許すことができないものです。明治時代は、そういう時代だったのでしょう。今の時代には考えられないことです。20数年後には、水平社が創立され、宣言が高々と読み上げられます。「自らを誇りうる時が来たのだ。」

教師を辞し東京へ向かう丑松を、子どもたちと師範学校時代からの友達の教師が見送ります。丑松は子どもたちに言うのです。「生きていれば、きっとまた会える。」この言葉から、丑松の子どもたちへのメッセージが想像できます。「どんなに苦しくても、耐えろ。そして生きろ。」「この世の中をきつと変えてみせるぞ。それまで、がんばれ。」「みんなで一緒に、差別のない世の中にしていこうぞ。」「仲間を信じろ。仲間と一緒に耐えられるぞ。仲間と一緒に変えられるぞ。」もっともっとたくさんの思いを込めて語ったのだと思います。

「愚かだから差別するのではない。弱から差別するのだ。」劇中の言葉で、印象に残った言葉です。私なりに解釈すると、差別することは許されないことだと分かっている。それが分からないほど人間は愚かではない。差別するのは、自分を守ろうとして、自分以外の者を犠牲にしているのだ。

自分以外の者を犠牲にして自分を守ろうとする校さなのだ。差別することは、自分の弱さをさらけ出していることなのだ。

この弱さを克服していくことが、現在に生きる私たちの使命だと考えます。一人一人の弱さを克服して、住みよいまち西条をつくり上げていきましょう。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課